

第11回 夢・未来熊谷ジュニア議会 会議録



平成28年11月14日開催

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会



目 次

1	第11回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要	1
2	議事日程	3
3	出席議員(32名)	4
4	一般質問	5
	質問番号1 市長公室関係	5
➤	議席番号4 富士見中学校 西川 楓 議員	
➤	議席番号15 吉岡中学校 野口 翔平 議員	
	質問番号2 市長公室関係	8
➤	議席番号30 妻沼西中学校 藤間 さや 議員	
➤	議席番号31 江南中学校 境 大輝 議員	
	質問番号3 総合政策部関係	10
➤	議席番号1 荒川中学校 山田 顕次郎 議員	
➤	議席番号5 大原中学校 相馬 志穂 議員	
➤	議席番号17 別府中学校 大川 陽介 議員	
	質問番号4 総合政策部関係	13
➤	議席番号7 熊谷東中学校 小澤 涼太 議員	
➤	議席番号27 妻沼東中学校 長島 大輝 議員	
➤	議席番号18 別府中学校 門井 雅 議員	
	質問番号5 市民部関係	16
➤	議席番号9 玉井中学校 代島 波音 議員	
➤	議席番号10 玉井中学校 仲島 由莉 議員	
	質問番号6 福祉部関係	19
➤	議席番号20 三尻中学校 瀬尾 知里 議員	
➤	議席番号25 大里中学校 山岸 陵太 議員	
	質問番号7 福祉部関係	21
➤	議席番号6 大原中学校 鶴田 陽菜 議員	
➤	議席番号26 大里中学校 鈴木 花音 議員	

質問番号8 環境部関係.....	23
➤ 議席番号 19 三尻中学校 本村 祐紹 議員	
質問番号9 産業振興部関係.....	25
➤ 議席番号 8 熊谷東中学校 吉村 玲奈 議員	
➤ 議席番号 13 中条中学校 篠田 隼寿 議員	
➤ 議席番号 24 大幡中学校 倉澤 結 議員	
➤ 議席番号 29 妻沼西中学校 加藤 将義 議員	
質問番号 10 産業振興部・農業委員会関係.....	29
➤ 議席番号 2 荒川中学校 奥村 奈美 議員	
➤ 議席番号 14 中条中学校 金井 祐季 議員	
質問番号 11 都市整備部関係.....	31
➤ 議席番号 32 江南中学校 永井 花 議員	
➤ 議席番号 28 妻沼東中学校 尾澤 菜緒 議員	
質問番号 12 都市整備部関係.....	33
➤ 議席番号 21 奈良中学校 秋好 和登 議員	
➤ 議席番号 23 大幡中学校 初谷 昂汰 議員	
質問番号 13 建設部関係.....	35
➤ 議席番号 22 奈良中学校 松村 萌々香 議員	
➤ 議席番号 16 吉岡中学校 會澤 華央理 議員	
質問番号 14 教育委員会関係.....	37
➤ 議席番号 11 大麻生中学校 檜原 悠人 議員	
➤ 議席番号 12 大麻生中学校 海老原 桃花 議員	
➤ 議席番号 3 富士見中学校 望月 涼平 議員	
5 ジュニア議員の感想 ～ジュニア議会を終えて～.....	40
6 参考資料(ジュニア議員座席表).....	42
7 参考資料(答弁のための出席者).....	43

1 第11回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要

夢・未来熊谷ジュニア議会は、平成18年10月に「熊谷市子ども議会」としてスタートし、今年度で第11回を迎えました。第6回からは「夢・未来熊谷ジュニア議会」と名称を変更し、本議会に先立ち、2回のワークショップを行いました。今回もワークショップを行い、市政に関する事前学習とジュニア議員同士の交流を深めました。

第1回ワークショップ(平成28年7月28日[木])

最初に、オリエンテーションとして、自己紹介と学校紹介を行いました。

その後、「未来の熊谷を一緒に考えよう」をテーマにグループを行い、熊谷市の現状や理想についてグループごとに意見をまとめ、発表しました。各グループとも活発な意見交換が行われました。



第2回ワークショップ(平成28年8月25日[木])

事前学習では、第1回ワークショップのグループワークでジュニア議員からでた意見のまとめを企画課長が解説しました。

事前学習の後、本庁舎以外の庁舎の説明と本庁舎の見学を行いました。

最後に議会棟に移動し、当日の予行練習や集合場所の確認を行いました。



第11回夢・未来熊谷ジュニア議会(平成28年11月14日〔月〕)

熊谷市議会本会議場で開催しました。

松本 貢市郎 市議会議長が臨時議長をつとめ、議長に大麻生中学校の海老原
桃花 議員が、副議長に三尻中学校の本村 祐紹 議員が指名されました。



市内16中学校の2年生32人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問
を行い、それに対し、市長をはじめ市の執行部が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきま
した。



2 議事日程

(平成28年11月14日〔月〕13時30分開会)

- 1 市議会議長あいさつ
- 2 開会 臨時議長(熊谷市議会議長)

- 3 市長あいさつ

- 4 議長の選挙(指名推選)

- 5 副議長の選挙(指名推選)

- 6 一般質問

(途中議長が副議長と交代)

- 7 閉会 副議長

- 8 講評 熊谷市議会議長
熊谷市長



3 出席議員(32名)

議席番号	学校名	氏名
1	荒川中学校	山田 顕次郎
2		奥村 奈美
3	富士見中学校	望月 涼平
4		西川 楓
5	大原中学校	相馬 志穂
6		鶴田 陽菜
7	熊谷東中学校	小澤 涼太
8		吉村 玲奈
9	玉井中学校	代島 波音
10		仲島 由莉
11	大麻生中学校	檜原 悠人 ※
12		海老原 桃花
13	中条中学校	篠田 隼寿
14		金井 祐季
15	吉岡中学校	野口 翔平
16		會澤 華央理
17	別府中学校	大川 陽介
18		門井 雅
19	三尻中学校	本村 祐紹
20		瀬尾 知里
21	奈良中学校	秋好 和登
22		松村 萌々香
23	大幡中学校	初谷 昂汰
24		倉澤 結
25	大里中学校	山岸 陵太
26		鈴木 花音
27	妻沼東中学校	長島 大輝
28		尾澤 菜緒
29	妻沼西中学校	加藤 将義
30		藤間 さや
31	江南中学校	境 大輝
32		永井 花

4 一般質問

質問番号1 市長公室関係

議席番号4 富士見中学校 ^{にしかわ} ^{かえで} 西川 楓 議員
熊谷市のPR活動について

私は、小学校一年生のときに新潟県から熊谷市に転校してきました。熊谷の第一印象は「暑い」ということだけで、名産品や伝統行事は何も知りませんでした。小学校で五家宝作りの体験学習や、うちわ祭のお囃子に参加したことで、熊谷市の良いところをたくさん見つけられました。

熊谷は暑さが全国で有名ですが、暑さだけでなく、B級グルメや関東一の祇園うちわ祭など、熊谷にしかないものを強みとして、全国の人に熊谷の良いところをもっと知ってもらいたいです。そのために、私は学生が自分の市の名産品や伝統を紹介する活動を行うと良いと思います。活動を行うことで、私たちも市の事をより深く知ることができ熊谷を活性化することもできます。

熊谷市では、暑い以外の熊谷を知ってもらうために、どのような取組をしていますか。また、私たちがボランティアで取り組めることはありますか。

議席番号15 吉岡中学校 ^{のぐち} ^{しょうへい} 野口 翔平 議員
暑さ対策について

熊谷市の暑さについては様々なところで話題となっていますが、それだけでなく「暑さ対策日本一」であることを知りました。駅の「冷却ミスト」や「涼しさ体感アート事業」などは、そこを通るたびに涼感を得られます。また、授業の中で「暑さに負けるな中学生事業」として熱中症予防の方法などを学び、夏休み中の部活動の練習にも、大変役に立ちました。

これからも、暑さ対策はまだまだ必要になるとは思いますが、さらに熊谷市で計画されている暑さ対策がありましたら教えてください。

答弁 (市長)

西川楓議員さん、野口翔平議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

西川さんと野口さんのお二人から質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、合わせてお答えします。

熊谷市は、平成19年8月に当時の日本最高気温を記録したことで暑い街として有名ですが、この暑さで私が一番心配したのは、市民の皆さんの健康でした。そこで、熱中症の注意喚起や暑さをやわらげる取組に力を入れるため、市の若手職員を中心に「暑さ対策プロジェクトチーム」を結成し、毎年、熊谷オリジナルの暑さ対



策事業を提案・実施しています。このような市の暑さ対策の取組が外部からも評価され、環境省をはじめ、全国 7000 以上の行政や民間企業で組織される団体が主催する「ひと涼みアワード」において、5 年連続で最優秀賞などを受賞し、野口さんの言うとおり、暑さ対策日本一ということでも知られています。今後も、暑さから市民の健康を守ることを最優先に暑さ対策にしっかり取り組んでいこうと考えています。

この暑さ対策で有名なこと以外にも、熊谷市には埼玉県内唯一の国宝建造物である歓喜院聖天堂を代表とする文化財や、さくら祭、西川さんもお囃子に参加した熊谷うちわ祭、花火大会などのイベント、またグルメでは夏を代表するスイーツとして親しまれている雪くまや、熊谷は本州一の小麦の産地でありますので、地粉を使ったうどんやフライなどの名物もあります。さらには、さくらマラソン、全国高校選抜ラグビー大会、ラグビートップリーグなど全国規模のスポーツイベントなど、魅力のある観光資源やイベントがありますので、大勢の皆さんに熊谷市のことを知ってもらい、住んでみたいと思ってもらえるように、テレビやラジオを活用したり、また、私が直接旅行会社や出版社に熊谷の魅力を売り込むトップセールスを行うなど、積極的に熊谷市をアピールしています。

中学生の皆さんには、熊谷の歴史などの勉強や、街歩きやイベントなどを通して市のことをもっとよく知り、好きになってもらい、他の市に住んでいる友達や親戚の方にも市の良さを伝えてもらいたいと思います。また、2019 年には、ラグビーワールドカップの試合が行われますので、英語や、対戦カードの国の簡単な挨拶などを勉強し、世界中からやってくるお客さんをおもてなししてもらえたらと思います。

議席番号 4 富士見中学校 にしかわ かえで 西川 楓 議員 熊谷市の PR 活動について(市長公室長)

西川楓議員さんの「熊谷市の PR 活動について」にお答えします。

熊谷市では、市の魅力や取組を市内外へ効果的に発信するため、熊谷市及び観光協会のホームページを始め、大手観光情報誌「るるぶ埼玉」に熊谷を特集した小冊子を綴じ込み、広く PR したほか、東京の有楽町にある「ふるさと暮らし情報センター」に市のブースを確保し、熊谷での暮らしをイメージしてもらうためのパンフレットを設置するなど、主に若い世代をターゲットとした情報発信に取り組んでいます。



さらに、個人への PR だけではなく、企業を誘致することで、財政面でのメリットや市民の雇用が確保されますので、県内最高水準の支援策をつくって、企業に熊谷市への移転を呼びかけています。また、国や県レベルのスポーツや文化芸術の大会に出場する中学生に対し、プレミアムTシャツをお配りし、大会などに出かけるときに、そのTシャツを着て、熊谷市の PR を行ってもらって

ます。

また、ボランティアについてですが、ゴミゼロ運動やうちわ祭の時の清掃、街路への花植えなどの街をきれいにする活動をはじめ、熊谷を訪れる観光客を案内する活動、

ムサシトミヨやホテルを保護する活動、スポーツ団体の指導など、自治会やNPO 団体などが様々な活動を行っています。

市では、熊谷がより魅力的なまちになり、訪れた方にも良い印象を持っていただけるよう、市報やホームページなどを通じて活動への参加を呼びかけていきますので、中学生の皆さんも積極的に参加し、地域づくりに貢献していただければありがたいと思います。

議席番号15 吉岡中学校 ^{のぐち しょうへい}野口 翔平 議員 暑さ対策について(市長公室長)

野口翔平議員さんの「暑さ対策について」にお答えします。

熊谷市では、暑さから市民を守るため、先ほど市長がお答えした「暑さ対策プロジェクトチーム」で、これまで様々な暑さに対する先進的な取組を提案してきましたが、その一例としましては、暑さで気分が悪くなった方の体調回復のため、公共施設に熱中症予防グッズを備えた休憩所を開設する「まちなかオアシス事業」や、部活動のリーダーとなる中学2年生に熱中症予防の授業を実施する「暑さにまけるな中学生事業」などを実施しています。

今年度は、新規事業として、大学生が市立保育所を回り、紙芝居や寸劇などで、熱中症予防をわかりやすく教える「暑さに強い子“かんげき”！事業」や、暑さ対策を主体的に考え行動できる児童の育成を目指し、小学校の委員会活動で児童が考えた暑さ対策の取組を支援する「小学校委員会活動支援事業」なども実施しました。

来年度の事業についても、熱中症予防に関するものや、暑さを緩和するもの、暑さ対策を地域の活性化につなげるものなど、プロジェクトチームからこれまでの取組にはない新しいアイデアが提案されていますので、期待していただきたいと思います。



質問番号2 市長公室関係

議席番号30 妻沼西中学校 ^{とうま}藤間 さや 議員 熊谷市全体の避難訓練について

小・中学校では地震、火災、竜巻、不審者などの様々な避難訓練をしています。このように、日頃から訓練をしていたので、今年7月の中学校爆破予告でも素早く対応できたのではないかと思います。

また、近々、大震災が起きるのではないかと予測されています。熊谷市でも総合防災訓練を実施しています。

しかし、その訓練が各地区、地域に生かされるようにするには、防災無線を利用して、同じ時期、同じ時間帯に一斉に大規模な避難訓練を行い、地域の課題を見つけ、地域に合った避難訓練にしていくことが大切ではないかと考えますが、いかがでしょうか。

議席番号31 江南中学校 ^{さかい だいき}境 大輝 議員 市内の建物全壊率が高い地域の取組について

最近、日本各地では地震が多く発生しており、関東にも大地震が発生するかもしれないとニュースで話題となっております。熊谷市ハザードマップの中に載っていた「建物全壊率」の図では、避難所が少ない所に全壊率が高い場所がありました。

もし、大地震が起こってしまった際、地域の方々が安全に避難ができるように、このような地域に、どのような取組を行っているのでしょうか。

答弁 (市長)

藤間さや議員さん、境大輝議員さんのお二人から、避難訓練のあり方や安全に避難するための取組などについて質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、あわせて私から全般的にお答えします。

今年の4月、熊本県を震源とする震度7の地震が連続して発生し、たくさんの建物が倒壊するなど、大きな被害が生じました。また、先月21日にも、鳥取県で震度6弱の地震が発生し、あらためて、日本列島のどこでも大地震が起こりえることを思い知らされました。

こうした中、お二人の質問にもあった小中学校で行われている様々な災害を想定しての避難訓練や、住んでいる地域の災害の特徴などを知るためにハザードマップを確認することは、大変意義のあることであり、今後も続けていきたいと思えます。熊谷市が実施している総合防災訓練についても、より実践的な訓練になるよう、改善できる点がないか、よく確認していきます。また、毎年、170を超える自主防災会がそれぞれの地域で行っている防災訓練についても、より地域の実情に合った訓練になるよう市としても協力したいと考えています。そして、実際に大地震が起こった際に、安全に避難や救急消火活動が行えるよう、市内の主な道路に面した建物の耐震化を進めるための支援を行ったり、「熊谷市建築物耐震改修促進計画」に基づいて、地震に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。

議席番号30 妻沼西中学校 ^{とうま}藤間 さや 議員
熊谷市全体の避難訓練について(危機管理監)

藤間さや議員さんの「熊谷市全体の避難訓練について」にお答えします。

熊谷市では、2年に一度、総合防災訓練を実施しています。市内の企業や自治会など、約700人もの方々にご参加いただき、避難誘導や負傷者の救出・救命、救援物資の輸送、電気やガス、水道の復旧など、様々な訓練種目を設けて行っています。防災意識の向上などに役立っていると考えていますが、先ほど市長がお答えしたように、より実践的な訓練となるよう、内容や方法の改善について、さらに確認をしていきたいと考えています。

また、各地域で行う防災訓練も、「自分の身は自分で守る。自分たちの地域は自分たちで守る」という「自助・共助」の重要性から、近年、大きくクローズアップされています。ご質問いただいた、防災無線を利用して一斉に行う避難訓練も、自助・共助の取組を進めるためのひとつの方法として、意味のある提案だと考えています。

今後、熊谷市では、各地域のご意見も聴きながら、このような訓練を含め、地域の課題や特徴を踏まえた防災訓練の方法を探っていききたいと考えています。

議席番号31 江南中学校 ^{さかい だいき}境 大輝 議員

市内の建物全壊率が高い地域の取組について(危機管理監)

境大輝議員さんの「市内の建物全壊率が高い地域の取組について」にお答えします。

今年4月、熊本県を震源とする大地震が発生し、周辺の県を含めて大きな被害をもたらしたのは、記憶に新しいところです。また、関東地方でも、平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震以降、それまでよりも地震の発生頻度が高くなっています。

熊谷市では、建物全壊率が高い地域に限定した特別な対策はありませんが、市内全域において古い耐震基準で建てられている木造住宅が大きな地震に耐えられるかどうかの診断や耐えられるようにするための改修にかかる費用に対して、補助を行っています。また、市内の各地域に出向いて実施している市政宅配講座などにおいて、家具の固定や非常持出品の準備など、日ごろから心がけてほしい防災対策についてお話ししています。

科学が発展し、地震予知の研究が進められていますが、大地震は、いつ、どこで起きるかわかりません。大地震が発生したときには、あわてず、まず、その場で各自の身を守り、その後、避難が必要な場合には、近くの公園など安全なスペースに避難することが大切です。そのために、各自が、日頃からできるだけ複数の避難路を考えておくことも重要です。

熊谷市では、このような事柄について、今後も、様々な機会を通して、市民の皆さんにお伝えしていきたいと考えています。

質問番号3 総合政策部関係

議席番号1 荒川中学校 やまだ けんじろう 山田 顕次郎 議員 熊谷市の人口推移について

熊谷市誕生から10年たち、2007年に江南町が編入されたことによって、県北初の20万都市となりましたが、人口減少が進んでいて、今のままでは人口が20万人を下回ってしまいます。また、少子化も進んでおり、数十年後、働き手が少なくなり、社会維持が困難になることが予想されます。このような人口問題に市ではどのような取組をしていますか。

議席番号5 大原中学校 そうま しおん 相馬 志穂 議員 北陸新幹線の停車について

昨年3月、北陸新幹線が開通し、首都圏と北陸が新幹線1本で行き来できるようになりました。しかし、熊谷駅には北陸方面へ直通する列車は1本もなく、長野止まりとなっています。これでは、北陸新幹線を利用する方が熊谷に立ち寄りにくくなり、2019年に行われるラグビーワールドカップの際に利便性が発揮されないと思います。

そこで観光客の増加のために、北陸新幹線を熊谷駅に1本でも多く停車させることはできないでしょうか。

議席番号17 別府中学校 おおかわ ようすけ 大川 陽介 議員 姉妹都市インバーカーギル市について

私は、海外留学やホームステイに興味を持っており、熊谷市のホームページで調べたところ、熊谷市がインバーカーギル市と姉妹都市であることが分かりました。そのホームページには、「両市の高校、大学等が短期派遣や受け入れを行うなど、活発な交流を行っている。」とありました。

そこで、この「交流」とは具体的にはどのようなものですか。

答弁 (市長)

山田顕次郎議員さん、相馬志穂議員さん、大川陽介議員さんの質問に、私から一般的にお答えします。

はじめに、山田さんの「熊谷市の人口推移について」ですが、日本全体で少子高齢化が進む中、熊谷市の人口も平成12年をピークに減少し、20万人を維持することは容易ではなくなりつつあります。人口減少が進むと、熊谷市で働く人がいなくなり、産業が衰え、まちの活力が失われてしまいます。これからも熊谷市が持つ豊富な自然や産業、スポーツという強みを生かして、夢や希望を持ち、暮らしていきたいと思えるような魅力的なまちづくりを進め、人口減少を克服していきたいと考えています。

次に、相馬さんの「北陸新幹線の停車について」ですが、熊谷駅は、新幹線、高崎線、秩父鉄道本線が停車し、さらに、熊谷駅を中心に、周辺市町へ向うバス路線が何本も伸びていて、埼玉県北部や秩父地域を始め、群馬県南部地域と、東京方面、上信越・北陸方面とを結ぶターミナル駅だと考えていますので、私自ら、何度もJR東日本本社に赴き、停車をお願いしているところです。引き続き、JR東日本へ強く働きかけ

てまいります。

次に、大川さんの「姉妹都市インバーカーギル市について」ですが、熊谷市とニュージーランドにありますインバーカーギル市は、平成5年に姉妹都市提携を結び、現在まで、市民や行政など様々な分野の交流が行われています。

郷土の偉人である石坂養平先生は『少年よ、世界を小とせよ』と言っていますが、中学生の皆さんには、生まれ育った熊谷を大切にいただきながら、世界に羽ばたく国際人に大きく育ってほしいと思います。

議席番号1 荒川中学校 ^{やまだ けんじろう} 山田 顕次郎 議員
熊谷市の人口推移について(副市長)

山田顕次郎議員さんの「熊谷市の人口推移について」にお答えします。

進行する少子高齢化により、熊谷市も人口減少は避けられない状況で、昨年度行った人口推計によると、2060年には、現在の半分程度になるとの結果となりました。このため、「熊谷市人口ビジョン・総合戦略」という計画を定め、20代や30代の若い世代をターゲットに、働く場所を増やすための「雇用促進」、暮らしやすいまちづくりを目指した「転入・定住促進」、お父さん、お母さんが安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるための「出産・子育て支援」という3つの目標の実現に取り組んでいるところです。

主な取組を紹介しますと、雇用促進分野では、市内への企業誘致を進めています。佐谷田地区へ、世界最大の家電メーカーの研究施設である「ハイアールアジアR&D株式会社」の誘致を始め、来年度には、江南の千代地区に「ヤオコー物流センター」が完成する予定です。

次に、定住促進では、若い人が家を購入する際に税金を免除したり、子育て世代の家族が熊谷に帰って来るように、3世代で同居や近居ができるよう補助制度を創り、昨年度の転入者のうち、741人の方がこれらの制度を利用しました。

さらに、出産・子育て支援では、来年1月から、これまで中学生までとしていた医療費の無料化について、高校生まで拡大するなど、子育て環境の充実を図っています。こうした様々な分野において、熊谷独自の取組を進め、同時に情報発信を強化することで、人口減少問題に取り組んでいきます。



議席番号5 大原中学校 ^{そうま しおん} 相馬 志穂 議員
北陸新幹線の停車について(総合政策部長)

相馬志穂議員さんの「北陸新幹線の停車について」にお答えします。

現在、北陸方面へ直通する新幹線は、北陸新幹線の「かがやき」、「はくたか」がありますが、どちらも熊谷駅に停車することなく通過するダイヤ編成となっています。このことについて、JR東日本に理由を聞いたところ、航空各社との競争に打ち勝つために、各駅の利用状況などを総合的に考え、金沢へ早く到着できるよう停車駅を限定したそ

うです。

熊谷駅における北陸新幹線の利用者数を東京から長野駅間の停車駅で比べると、大宮、高崎、長野の各駅に次ぐ利用者数ですが、その91%は東京方面で、残り9%の下り方面についても、多くが高崎駅等の近距離利用ということです。熊谷駅は、ラグビーワールドカップ開催都市の玄関口として、日本だけでなく海外からのお客様もお迎えしますので、皆さんをおもてなしできるような様々な事業を計画しています。また、上信越方面、北陸方面での大会成功に向けた様々なPR活動も検討しています。

このような取組やJR東日本への働きかけを続け、北陸新幹線の停車を実現したいと考えていますので、皆さんも北陸方面への旅行を計画する場合は、長野駅での乗換えになりますが、熊谷駅から新幹線を利用してください。

議席番号17 別府中学校 おおかわ ようすけ 大川 陽介 議員
姉妹都市インバーカーギル市について(総合政策部長)



大川陽介議員さんの「姉妹都市インバーカーギル市について」にお答えします。

熊谷市とニュージーランド・インバーカーギル市との交流は平成5年の姉妹都市提携以来、24年目を迎えています。中学生が海外留学・ホームステイする機会として、ほぼ毎年、熊谷市国際交流協会が、中高生ホームステイツアーを実施しています。今年度は25名が参加し、そ

のうち中学生は16名でした。これまでに200名以上の中学生がインバーカーギル市での生活を体験しています。

また、熊谷、熊谷女子及び熊谷西の3つの高等学校がインバーカーギル市の高等学校とそれぞれ兄弟校・姉妹校提携を結び、生徒の相互派遣を行っています。訪問先のインバーカーギル市では、2週間、一般家庭にホームステイしながら現地の学校へ通学しての英語研修や熊谷市の親善大使として市長を表敬訪問するなど、様々なプログラムを体験しています。

一方、熊谷市を訪れたインバーカーギル市の高校生も、市長表敬や市内の小中学校への訪問、さらに、茶道や着物の着付けといった日本文化体験などのプログラムで交流を図っています。

こうした交流は、中学生の皆さんがお互いを知り、国際感覚を身に付けるには大変有意義であると思います。皆さんも機会がありましたら、ぜひ、参加してみてください。

質問番号4 総合政策部関係

議席番号7 熊谷東中学校 ^{おざわ りょうた} 小澤 涼太 議員

ラグビーワールドカップに関連した熊谷市のPRについて

僕はクラスの友達に「熊谷のいいところは何？」と聞いたことがあります。しかし、あまり答えられなかった人が多かったです。

僕は熊谷をもっとPRして、全国的に有名になってほしいと思っています。

2019年のラグビーワールドカップを機会に交通の面などで、熊谷はとても活発になります。観客にはラグビーを観戦するだけでなく、それと同時に熊谷のことを知ってもらえたらと思っています。

そこでラグビーワールドカップに関連して熊谷をPRするためにしていること、これからしようと思っていることはありますか？

議席番号27 妻沼東中学校 ^{ながしま だいき} 長島 大輝 議員

ラグビーワールドカップを盛り上げることについて

熊谷市は、2019年ラグビーワールドカップの開催地となりました。現在もそれに向けた様々な準備が進められていると思います。

しかし、ラグビーのルールは難しく、サッカーや野球ほど多くの人に親しまれていないと思います。

そこで質問です。熊谷市では、もっとラグビーに親しんでもらうためにどんなイベントなどを行っていますか。また、今後実施する計画はありますか。

議席番号18 別府中学校 ^{かどい みやび} 門井 雅 議員

ラグビー以外のスポーツについて

熊谷市が2019年のラグビーワールドカップの開催都市に決定し、それに向けて様々な取組が行われています。熊谷イコールラグビーとなっています。ですが、その他のスポーツ、例えば野球やサッカーなどにも力を入れて取り組んでほしいと思います。

ラグビー以外のスポーツをもっとPRすることはできますか。

答弁 (市長)

小澤涼太議員さん、長島大輝議員さん、門井雅議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

アジアで初となる「ラグビーワールドカップ2019」開幕まで、あと3年を切るところまで来ました。このため、現在、埼玉県が熊谷ラグビー場の改修を行っています。熊谷市では玄関口となる熊谷駅の駅前広場や会場へのアクセス道路の整備を行うなど、大会に向け着実に準備を進めているところです。

はじめに小澤さんの「ラグビーワールドカップに関連した熊谷市のPRについて」ですが、現在は、ラグビーワールドカップの試合が熊谷市で行われるということ、より多くの皆さんに知ってもらうことにウエイトをおいて様々なPR活動に取り組んでいます。例えば、「トライフォト」と呼ばれているトリック写真の仕掛けは、これまで好評をいただいていることから、多くの方が利用している熊谷駅に設置できるよう現在協議しているところです。

で、間もなく皆さんにもお披露目できると思います。

次に、長島さんの「ラグビーワールドカップを盛り上げることについて」ですが、多くの方にラグビーに親しんでもらうことの一つの方法として、今年はトップレベルのラグビーの試合の際に、気運を盛り上げるいろいろなイベントを実施しました。先月行われたトップリーグでは、競技場前の広場で、トライフォトやタックルマシンなどを使った体験コーナーをはじめ、トークショーやB級グルメなども実施し、幅広い世代の方にラグビーをアピールすることができたものと思っています。これからも、大勢の方が集まる機会には、こうした取組を続けていきたいと思っています。

次に、門井さんの「ラグビー以外のスポーツについて」ですが、ラグビーワールドカップに向け、現在はラグビーに力を注いでいる状況ですが、熊谷市はスポーツに熱中することを宣言しており、スポーツを通して健康な心と体を育み、元気にいきいきと生活することを目標としています。市民皆さんが生涯にわたってスポーツを愛し、「実践」「応援」「協力」を合言葉にスポーツに熱中できるように、これからもラグビーを含む、全てのスポーツの振興に全力で取り組んでいきたいと思っています。

議席番号7 熊谷東中学校 おざわ りょうた 小澤 涼太 議員

ラグビーワールドカップに関連した熊谷市のPRについて(総合政策部長)

小澤涼太議員さんの「ラグビーワールドカップに関連した熊谷市のPRについて」にお答えします。市民の皆さんと一体となって取り組んだ招致活動が実り、熊谷市は「ラグビーワールドカップ2019」の全国12の開催都市に名を連ねることができました。

このことにより、熊谷市の名前は全国に知られることとなったと思いますが、大会を成功させてはじめて、本当の意味での熊谷市がPRできるものと思っています。そのためには、何といたっても市民皆さんの関心をさらに高めてもらうことが重要ですので、現在は、うちわ祭りなどのイベントや、ラグビーの試合などで、様々な啓発活動を行っているほか、市の施設には広告塔や懸垂幕を掲げたり、公用車にロゴマークのマグネットシートを貼るなどして、大会の開催を大勢の方に知ってもらうようにしています。また、歩道橋などに横断幕を設置したり、熊谷駅周辺には街路灯を利用したバナーも掲げて、熊谷においでになる市外の皆さんも含めて、PRを行っています。このほか、先月には動画をメインにしたホームページ「熊谷ラグビー応援団」を開設しましたので、ぜひご覧いただきたいと思っています。

また、来年の秋には全ての対戦カードが決まる予定ですので、熊谷で試合を行う出場国には、熊谷市を紹介するDVDを送るなどして、PRしていきたいと考えています。熊谷で開催される試合ではラグビー場を満席にし、世界中からお見えになる方々に熊谷の良さを知ってもらえるよう、ジュニア議員の皆さんにも大いに関心を持ってもらい、協力や応援をお願いします。

議席番号27 妻沼東中学校 ながしま だいき 長島 大輝 議員

ラグビーワールドカップを盛り上げることについて(総合政策部長)

長島大輝議員さんの「ラグビーワールドカップを盛り上げることについて」にお答えします。

長島さんの質問にもありましたが、残念ながら日本では、ラグビーはサッカーや野球と比べるとテレビ放映も少なく、メジャーなスポーツとはいえない状況です。

昨年は、ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍により、普段、ラグビーにあまり関心

がなかった人たちも熱狂し、皆さんの中でもいわゆる「五郎丸ポーズ」をされた人も多かったのではないかと思います。ラグビーは力強さやスピード感などが特徴で、細かなルールを知らなくても魅了されるスポーツですが、多くの方に親しんでいただくためには、ラグビーに触れる機会を増やしていくことが大切だと思っています。市内の中学校ではラグビー部が5校に設置されていて、県内の中学ラグビーをリードしている状況ですが、今年は全部の小学校で、女子7人制ラグビーのオリンピック選手が大勢いるアルカス熊谷の選手たちによるタグラグビー教室を行い、ラグビーに触れる機会を増やしています。

また、熊谷市では、昨年のイングランド大会をはじめ今年6月の日本とスコットランドの代表戦などで、大画面でゲームをご覧いただく「パブリックビューイング」を実施して、大勢のお客さんに楽しんでいただきました。さらに、熊谷ラグビー場で行われているトップリーグや高校、大学の試合では、観客用にルール解説なども場内放送するほかラグビー体験コーナーなどのイベントも行っています。

これからも、多くの方々に関心を持ってもらえるような取組を続けていきますので、皆さんもぜひ機会を見つけてラグビー場に足を運んでください。

議席番号18 別府中学校 ^{かどい みやび} 門井 雅 議員
ラグビー以外のスポーツについて(総合政策部長)

門井雅議員さんの「ラグビー以外のスポーツについて」にお答えします。

熊谷市には、全国でも有数の規模を誇る熊谷スポーツ文化公園や、熊谷さくら運動公園をはじめ、宿泊も可能なスポーツ文化村「くまびあ」など、充実したスポーツ施設があります。熊谷スポーツ文化公園では、全国高校選抜ラグビー大会や、選抜高校女子サッカー大会めぬまカップ、陸上競技の日本選手権大会など、全国規模の大会が開催され、サッカーでは、Jリーグ公式戦も毎年開催されています。

また、熊谷さくら運動公園では、プロ野球イースタンリーグや武蔵ヒートベアーズの公式戦をはじめ、全国各地からランナーが参加する熊谷さくらマラソン大会を毎年開催しています。熊谷市では、このような大会が開催される場合、市報やホームページ、メール配信により、大会の情報を発信するほか、大会によっては、小中学校をはじめ、公共施設などにポスターやチラシを配布して、大会をPRして盛り上げるための取組を行っています。

スポーツは、市民の一体感や、地域の誇りを生み出す力になり、まちづくりや、地域の発展に大きく役立つと考えています。現在は、3年後に開催されるラグビーワールドカップ2019の成功に向け、様々な取組を行っていますが、このような取組を野球やサッカーをはじめ、スポーツ全般に活用し、元気で活力のあるまちとなるよう、ラグビー以外のスポーツも積極的にPRしていきたいと考えています。

質問番号5 市民部関係

議席番号9 玉井中学校 ^{だいじま なおと}代島 波音 議員 市内の交通事故減少対策について

最近、交通面での事件や事故が増えていてきて、TV やラジオでよく耳にします。熊谷市内でも、自動車や自転車の衝突事故や接触事故は少なくありません。

そこで、交通事故防止のための対策について質問します。市では、市内の事故を減少させるために、どのようなことを行っていますか。

議席番号10 玉井中学校 ^{なかじま ゆり}仲島 由莉 議員 道の街灯について

私の家の近くの道には街灯が少なく、夜間の自転車等での移動がとても危険です。その他の道にも街灯が少ない場所があると聞きました。

このような場所への対策について、今後どのようにしていくのか計画等をお聞きしたいです。

答弁 (市長)

代島波音議員さん、仲島由莉議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、代島さんの「市内の交通事故減少対策について」ですが、交通事故は、被害者の家族や友達をたいへん悲しませるのはもちろんのこと、加害者も大きな責任を負うこととなります。このため、熊谷市では、交通事故のない安全で安心な都市を目指して、警察や交通関係団体と連携し、交通安全意識の高揚と正しい交通マナーの啓発・普及に努めています。また、安全に通行できる自転車レーンの設置や、通学



路の安全対策として、グリーンベルトや防護柵の設置等、交通環境の整備も進めています。さらに、小学校では、交通指導員や地域の皆さんの協力により、登下校時の見守りを行い、児童の安全を確保していますが、中学生の皆さんも、登下校時はもちろんのこと、普段の外出時も、交通ルールを守り、「歩きスマホ」や自転車の二人乗りなどはしないよう、心がけてください。

次に、仲島さんの「街灯について」ですが、市では、犯罪の起こらない地域環境の整備を目的として、通学路をはじめ暗くて危険な場所に防犯灯と呼ばれる街灯を地域と協力し、設置しています。防犯灯の設置にあたっては、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、原則として地域の自治会に設置をお願いし、市は設置費用などを支援しています。また、平成 29 年度を目標に、市内の全ての防犯灯を明るさや経済性に優れたLEDに交換する取組も進めています。これからも地域と市が協力して、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

議席番号9 玉井中学校 ^{だいじま なおと} 代島 波音 議員
市内の交通事故減少対策について(市民部長)

代島波音議員さんの「市内の交通事故減少対策について」にお答えします。

まず、熊谷市における交通事故の状況ですが、埼玉県警察本部の交通事故統計資料によると、平成27年は986件の交通人身事故が発生し、亡くなられた方が8人、けがをされた方が1,252人でありました。そこで、交通事故が起こらないよう、熊谷市では、交通安全の啓発に努めています。主な内容ですが、季節ごとに実施する交通安全運動等のキャンペーンの際、熊谷警察署をはじめ、関係団体の協力を得て、JR熊谷駅や籠原駅、交通量の多い交差点、百貨店・スーパーマーケット等の商業施設の店頭など、市内各所で、街頭啓発活動を実施しています。また、小中学校や保育園、幼稚園、長寿会や地域の会合などで、交通ルールや正しい自転車の乗り方を学ぶ、交通安全教室を開催しています。

情報発信としては、ホームページ・市報等に、交通安全情報を掲載するとともに、メール配信サービス「メルくま」や、防災行政無線による情報提供、交通安全指導車による交通事故防止の広報・巡回等を実施しています。

また、10月から年末にかけて、高齢者交通安全声掛け隊、熊谷市交通安全母の会の皆様に高齢者世帯を訪問してもらい、交通安全を呼び掛ける啓発活動も実施しています。

さらにイベントでは、11月に、熊谷スポーツ文化公園において、「くまがや交通安全フェア」を開催し、多くの方に訪れてもらうことで、市民の交通安全意識の高揚に努めています。また、重大な交通事故に対しては、熊谷警察署等と連携し、事故現場の現地調査を実施し、事故防止対策を検討した上で、注意喚起の看板や道路標識の設置など、有効と考えられる対策を実施しています。

このほか、交通環境の整備としては、先ほど市長が答弁しましたが、通学路のグリーベルト等の整備を、平成24年度より進めています。

これからも、熊谷警察署や関係機関・団体等と連携しながら、交通事故の減少に努めていきます。



議席番号10 玉井中学校 ^{なかじま ゆり} 仲島 由莉 議員
道の街灯について(市民部長)



仲島由莉議員さんの「街灯について」にお答えします。

大きな道路については、道路の構造等を定めた国の基準に基づいて、国や県、市などの道路管理者が照明灯を設置することになっていますが、基準に満たない細い道路等については、道路照明灯は設置されません。このため、熊谷市では市民が安心して、安全に生活

できる地域環境を整備するために、自治会と協力し、毎年、防犯灯を設置しています。昨年度は、335 基を設置し、現在、市内には約 16,300 基の防犯灯が設置されています。

防犯灯の設置については、地域の状況をよく知っている自治会にお願いし、設置に要した費用や、電気代などの維持費に対して、市から補助金を交付し、支援するとともに、学校の通学路等で、周りに住宅等がなく、自治会で設置することが適当でない場所については、市で防犯灯を設置しています。このため、部活動の帰りなどで、暗くて危険を感じるような場所がある場合は、保護者を通じて自治会の役員や学校に話して、市役所に相談してもらってください。

それから、仲島さんへのお願いですが、防犯灯が設置された場所は、明るく防犯効果が高くなりますが、頼りすぎると危険ですので、防犯ブザーを携帯したり、友達と一緒に帰るなど、普段の心がけも忘れないでください。

質問番号6 福祉部関係

議席番号20 三尻中学校 瀬尾 知里 議員

熊本地震の復興支援について

今年の4月、熊本地震がありました。熊本県を中心に大きな被害があり、50人の死者と多くの負傷者が出ました。しかし、地震から半年以上たった今でも、復興はあまり進んでいません。

そこで、復興のお手伝いとして、ウォークラリーなどのイベントを行い、そこで集まったお金を寄付したらどうかと考えました。熊谷市で、このようなイベントを行うことはできないでしょうか。

議席番号25 大里中学校 山岸 陵太 議員

保育施設について

熊谷市では、他の地域から移住してくる人たちのために、住居や子育てなどの助成制度が充実しているということ、「熊谷で暮らす」というパンフレットで初めて知りました。今後、他県や他の市町村から熊谷市に住む人が増加することが考えられます。そうすると、人口も増え、子どもの数も増えていくことが予想されます。

そこで、より子育てをしやすい市にするためには、今後、保育施設やその定員を増やさなければならないと思いますが、市としての計画や考えをお聞きしたいと思えます。

答弁 (市長)

瀬尾知里議員さん、山岸陵太議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに瀬尾さんの「熊本地震の復興支援について」ですが、本市では、地震発生直後から募金活動を開始し、各庁舎に募金箱を設置するとともに、市や関係団体が開催するイベントにおいても、募金箱を使って募金を集め、日本赤十字社を通じて被災地に送金しています。また、被災地の建物の被害認定調査のために現地に職員2名を派遣したり、運送会社の協力を得て、アルファ米等の災害支援物資の輸送を行いました。

最近では、鳥取県中部地震も発生しておりますが、復興には多くの皆さんの息の長い支援が必要となります。瀬尾さんの意見も参考にしながら、これからもいろいろなかたちで募金活動を行うとともに、そうした思いを持つ市民の人たちを応援していきたいと考えています。

次に、山岸さんの「保育施設について」にお答えします。私は、市長に就任以来、「子育てするなら、熊谷市」と、皆さんから思っただけのよう、様々な施策を進めてきました。保育所等の保育施設については、「熊谷市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもの人口や、保育の必要な量を推計し、その実現のための方策を定めています。具体的には、民間保育園や小規模保育施設の開設のほか、新しい制度である認定こども園の設置を進めることなどにより、必要な量を確保できるよう努めていきたいと考えています。また、お話のあったパンフレットは、市外の人にも熊谷市に関心を持ってもらえるように、主な子育て支援策等をPRするために、作成したものです。これ

を見て、熊谷市に移り住んだり、ずっと住み続けてくれたりする人が増えることを願っています。

議席番号20 三尻中学校 瀬尾 知里 議員
熊本地震の復興支援について(福祉部長)

瀬尾知里議員さんの「熊本地震の復興支援について」お答えします。

地震発生後、本市では、ただちに市役所本庁舎や各行政センターに募金箱を設置するとともに、貸出用の募金箱を作成し、環境のイベントやB級グルメ大会などにも設置して、募金活動を行ってきました。

大きな災害からの復興には、長い時間がかかることが想定されますので、これからもイベントなどを活用し、多くの市民から寄附金が集まるよう工夫をしていきたいと考えています。

また、市内には東日本大地震の復興支援として、毎年、チャリティーウォークを行っている市民活動団体があり、本市もこれに賛同して後援をしています。熊本地震の復興も含めて支援できるよう、こうした団体とも相談していきたいと考えています。

議席番号25 大里中学校 山岸 陵太 議員
保育施設について(福祉部長)

山岸陵太議員さんの「保育施設について」にお答えします。

現在、市内には公立保育所が12か所、民間の保育園が24か所、幼稚園と保育園が一緒になった認定こども園が2か所、定員が19人以下の小規模保育施設5か所と、定員5人以下の家庭的保育施設が1か所あります。なお、保育所等の入所を希望しても入れない子どもの数を調べる国の待機児童数調査では、熊谷市は、今年も待機児童数0人でしたが、社会情勢の変化に伴い、子どもが小さい時期から働きたいという保護者が増え、保育所への入所希望者数も増加傾向にあります。

そこで、熊谷市では、先ほど市長から答弁のありました計画の中で、特に市民の希望の多い0歳から2歳児までの定員を増やすことを目指しています。昨年度は、新たに民間保育園1園、小規模保育施設4か所や家庭的保育施設1か所が開設されたほか、認定こども園となり定員を増やした園が1園あり、受入定員を増やすことができました。

これからも、待機児童数の動向にも配慮しながら、保護者の方の希望に対応できるよう、計画に基づき、受入定員の充実に努めていきたいと考えています。

質問番号7 福祉部関係

議席番号6 大原中学校 鶴田陽菜議員 子育て支援について

熊谷市では平成12年をピークに人口の減少が進んでいると聞きました。

そこで、子どもを増やすために子育て支援が必要になります。安全・安心に子どもを育てることができるように熊谷市で行っていることはありますか。

議席番号26 大里中学校 鈴木花音議員 こども110番の家について

私の学校では、通学路にあるこども110番の家を、利用したことのない人が多いです。日頃より、保護者や地域の方々の支援や市の放送等のおかげで、安全に暮らせているのだと思います。ただ、多くの方は利用したことがないため、どのようなとき・どのように利用してよいのか、わかりません。

そこで、こども110番の家の利用法の資料などを市で作成して具体的に示していただけると考えていますが、いかがでしょうか。

答弁 (市長)

鶴田陽菜議員さん、鈴木花音議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、鶴田さんの「子育て支援について」ですが、地域の人口減少が進んでいくと、産業が縮小したり、地域コミュニティの機能が低下したり、また、税収が減ることで行政サービスの水準も低下し、市民生活へ大きな影響が出てくることが予想されます。そこで、私は、子育て支援策を最重要課題の一つに位置づけ、市民の皆さんが安心して子どもを産み、育てられる環境を整えるため、様々な事業を実施するとともに、妊婦から子育て卒業までの充実した相談支援体制の整備に向けて、積極的に取り組んでいます。特に、他市に先駆けて実施した「こども医療費の無料化」については、来年の1月から高校生まで拡大することとしましたので、皆さんが高校に進学されても、引き続き必要な時に利用してください。

次に、鈴木さんの「こども110番の家について」ですが、皆さんが通学の途中などで困った時や危険を感じた時に、身近なところで助けてもらえる場所が必要であると考えています。そこで、地域ぐるみで子どもの安全を守るため、各小・中学校のPTAの方々と協力し、地域の住宅、商店、事業所などをお願いして「こども110番の家」になっていただきました。現在、市内に2,010箇所ありますが、「こども110番の家」は、皆さんに安心感を与えてくださるとともに、その看板があることで犯罪の抑止力にもなっています。こうした場所が、皆さんに分かりやすく、安心して利用できるよう工夫していきたいと考えています。

議席番号6 大原中学校 ^{つるた ひな} 鶴田 陽菜 議員
子育て支援について(福祉部長)

鶴田陽菜議員さんの「子育て支援について」にお答えします。

子育て支援策の具体的な事業としては、市長の答弁にありました「こども医療費の無料化」をはじめ、誕生した全ての赤ちゃんのお家を保健師や助産師が訪問して様子を見守ったり、子育ての悩みがある時に相談できる窓口も充実させています。また、子育て中の親子が気軽に利用して、遊んだり、友だちをつくったりできる「地域子育て支援拠点」を市内に19か所設置していますが、中には、毎年1万人以上の方に利用されているところもあります。もちろん、保育所等の充実も進めています。特に、放課後児童クラブにつきましては、6年生までの受入ができるよう、毎年3か所以上の増設を進めています。

今後もより一層、子どもを産みやすく、育てやすい熊谷市を目指して、いろいろな事業を考えていきたいと思っています。

議席番号26 大里中学校 ^{すずき かのん} 鈴木 花音 議員
こども110番の家について(福祉部長)

鈴木花音議員さんの「子ども110番の家について」にお答えします。

市では、「子ども110番の家」の方に毎年、アンケート調査を行っています。その中で、昨年度、利用方法が多かったのが、トイレを借りに来たとか、水分補給に子どもたちが寄ったなどでした。こうした小さなことでも遠慮なく、立ち寄ってみてください。もちろん、不審者にあとをつけられるなどの万一の時のためにも、「子ども110番の家」は重要な役目を果たしてくれています。

「子ども110番の家」の役割や利用方法などについては、現在はPTAの方々を中心にお知らせしていますが、子どもたちや地域の方々に、より一層理解してもらえよう、工夫していきたいと考えています。



質問番号8 環境部関係

議席番号19 三尻中学校 もとむら よしあき 本村 祐紹 議員

クールシェアはあるのに、ホットシェアがないことについて

「あついぞ！熊谷」ということで、熊谷市では多くの事業を行っています。

しかし、熊谷は暑い上に寒い土地でもあります。クールシェアで節電、熱中症対策を行っているのですが、ホットシェアで節電、ということはどうでしょうか。

答弁 (市長)

本村祐紹議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。環境省では11月から3月の期間、節電と低炭素なライフスタイルへの転換を進める「ウォームシェア」という取組を推奨しています。これは、本村さんの質問にある「ホットシェア」と同じ考え方であり、暖房を止める、あるいは設定温度を下げることにより、節電や二酸化炭素の排出を抑制することを目的としたものです。

熊谷市では、熱中症など市民の皆さんの健康に直結するクールシェアに重きをおき、地域をあげて取り組んできたところですが、クールシェアも段々定着してきましたので、今後は、本村さん御提案のウォームシェアについても広く市民の皆さんにお知らせし、協力をお願いしていきたいと思っております。みんなでひとつの部屋に集まって過ごしたり、家族でイベントに出かけたり、スポーツをすれば、家庭のエネルギー消費を減らせるとともに、家族のコミュニケーションも深まり、みんなで楽しく過ごせます。夏の「クールシェア」も冬の「ウォームシェア」も、節電や二酸化炭素の排出の抑制に有効な取組です。



現在、私たちは、地球温暖化という大きな課題に向き合っていますが、一人ひとりが、環境問題を真剣に考え、限りあるエネルギーを大切に使うことで、こうした課題の解決につながるものと考えています。

議席番号19 三尻中学校 もとむら よしあき 本村 祐紹 議員

クールシェアはあるのに、ホットシェアがないことについて(環境部長)

本村祐紹議員さんの「クールシェアはあるのに、ホットシェアがないことについて」にお答えします。

熊谷市は、夏は暑く、冬は寒い、寒暖の差が大きい特色ある気候です。特に、夏は気温が非常に高くなるため、民間施設や、公共施設にクールシェアスポットを設け、家族や地域で楽しみながら節電に取り組む熊谷流のクールシェアに、地域をあげて取り組んでいます。

一方、冬の取組であるウォームシェアは、鍋料理を家族のみんなでひとつの部屋に

集まって食べるなど、暖房を共有したり、家庭の暖房を止めて地域のスポーツ行事等に参加したりすることをいいますが、クールシェアほどは知られていない状況です。

現在、私たちは地球温暖化という大きな課題に向き合っており、こうした課題の解決策のひとつであるウォームシェアの取組は、これから大いに広げる必要があるものと思われま。熊谷市におきましても、ご提案いただいていますウォームシェアについて、今後市民の皆さんにお知らせし、協力をお願いしていきたいと考えています。そして、みんなでクールシェアやウォームシェアを実行することにより、地球温暖化を止めていく努力をしていくことが大切なことだと考えます。



質問番号9 産業振興部関係

議席番号8 熊谷東中学校 ^{よしむら れいな}吉村 玲奈 議員

レジャー施設やテーマパークの設置について

私たちの自宅付近には、公園はたくさんありますが、家族で楽しめるようなレジャー施設やテーマパークなどがあまりありません。家族で楽しめるような施設を設置すれば、地元の人だけの場ではなく、観光客も増えると思います。

そこで、熊谷のPRのためにも、まちなかにレジャー施設やテーマパークなどを設置するのはいかがでしょうか。

議席番号13 中条中学校 ^{しのだ はやと}篠田 隼寿 議員

イベントでポイ捨てが多いことについて

熊谷市では、うちわ祭や花火大会などが開かれ、たくさんの方が集まります。これは、街が活性化して、とてもいいことだと思います。私もこれらのイベントを楽しみにしていて、よく出かけます。しかし、そのときにゴミがいろいろなところに落ちていて嫌だと感じます。せっかくの楽しいイベントなのに、終わった後の街が汚くなっているのは良くないと思います。

そこで、チラシ等を使ってゴミ箱の位置をわかりやすくしたり、ゴミ箱をもっと多く設置したりすることで、ポイ捨てが減るのではないかと思います。熊谷市ではどのような対策をしているのかお聞かせください。

議席番号24 大幡中学校 ^{くらすわ ゆい}倉澤 結 議員

熊谷市の特産物の雪くまについて

熊谷といえば暑いところで有名です。毎年多くの方に親しまれている雪くまは、暑い熊谷だからこそ味わえるかき氷です。しかし、私は今までに雪くまを一度しか食べたことがありません。また食べたいという思いはありますが、私の住む大幡地区には店舗がなく、食べることができません。

さらに、熊谷での知名度は9割と高くなっていますが、他の市の人たちからするとそれほど有名ではないと思います。私は熊谷といたら雪くまというくらい有名になってほしいです。

そこで雪くまを販売する店舗を増やし、雪くまをPRする看板やパンフレットなどをつくってほしいと考えています。熊谷市では現在どのような取組をしていて、これからどのような取組をしていこうと考えているのでしょうか。

議席番号29 妻沼西中学校 ^{かとう まさよし}加藤 将義 議員

妻沼聖天山等のPRについて

私たちの住む熊谷市には、国宝に指定された「歓喜院聖天堂」を本殿に持つ、「妻沼聖天山」があります。「歓喜院聖天堂」が国宝に登録された当初は観光客が増えていたと思いますが、今では、少なくなっているように感じます。熊谷市の観光客が増えれば、市全体の経済発展にもつながっていくと思います。

そこで質問です。熊谷市の観光客を増やすために、ぼくたち中学生にできることはないでしょうか。また、市ではどのようなPR活動を行っているか教えてください。

答弁 (市長)

吉村玲奈議員さん、篠田隼寿議員さん、倉澤結議員さん、加藤将義議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、吉村さんの「レジャー施設やテーマパークの設置」について、お答えします。しばらく前になりますが、私も、東京ディズニーランドに行ったことがあります。そこまでの規模ではないとしてもテーマパークが持つ大きな集客力は、街にとっても、大変魅力的です。そこで、私は熊谷のおいしい農産物や全国の食材を生かして日本を代表するような「食のテーマパーク」を、市東部の星宮地区に実現したいと構想を練っています。また、我が熊谷には、映画館や大型の商業施設のほか、スポーツ文化公園などのスポーツ施設、うちわ祭や花火大会などの伝統行事、たくさんのおいしい食べ物など、日常生活のなかに「魅力」がたくさん詰まっています。ぜひとも、皆で街を楽しみ、人と人をつなぎ、その楽しさを広く発信していきましょう。

次に、篠田さんの「イベントでポイ捨てが多いことについて」にお答えします。熊谷市は、「まつりのまち熊谷」としてたくさんの祭やイベントが行われます。篠田さんも楽しみにしてくれているようで、私も嬉しく思います。たくさんの人でにぎわうことは大変喜ばしいことですが、同時に、たくさんのゴミも発生し、マナーを守らない人がいれば、街は汚れ、街の快適さが失われてしまいます。自分の街は自らで綺麗に保つ、汚さない。一人ひとりの意識の違いで、街は生まれ変わります。一緒にクリーンで快適、安全な街づくりを進めていきましょう。

次に、倉澤さんの「熊谷市の特産物の雪くまについて」にお答えします。雪くまは今年10周年を迎え、熊谷市の名物として知られるようになりました。当初11店舗から始まった雪くまを販売する店舗は、今では29店舗に増えています。倉澤さんのいうとおり「熊谷といたら雪くま」という程、有名になるよう、これからもPRとともに、品質向上に力を入れていきます。

次に、加藤さんの「妻沼聖天山等のPRについて」にお答えします。妻沼聖天山の歓喜院聖天堂が国宝指定を受け、早いもので来年の7月には5周年を迎えます。国宝となって、これまで、市や県では、周辺道路の整備を進め、様々な媒体を通してPRをしています。聖天山は、「国宝」だから素晴らしいのではありません。先人の卓越した技術とともに、その建設が「地域の力」で支えられた点が評価され、国宝に指定されたものです。中学生の皆さんには、先人の「歴史」を学び、実感してほしいと考えています。「喜ばば 喜びごとが 喜んで 喜び集めて 喜びに来る」という言葉があります。私たちも、地元の良いところを発見し、喜びつつ、元気に楽しんで暮らすことが、市のPRにつながるものと考えています。

議席番号8 熊谷東中学校 よしむら れいな 吉村 玲奈 議員

レジャー施設やテーマパークの設置について(産業振興部長)

吉村玲奈議員さんの「レジャー施設やテーマパークの設置について」にお答えします。

人気のテーマパークには、多くのお客様が集まり、街のイメージアップや仕事の提供など、街にとっても魅力的な産業です。市長の答弁にあった「食のテーマパーク」構想は、国道17号バイパスと125号バイパスが交差する付近において農地の区画を整理し、道の駅を整備することに合わせて、楽しい空間づくりを目指しています。

また、熊谷の街なかには、イオン・八木橋・アズ・ティアラ21・ニッソーモールなど、家族や友達と楽しめる、充実した商業レジャー施設が集まっています。10月には、この5館がスクラムを組んで、街なかで買い物を楽しんでいただけるよう、「街ナカお買いものラリー」を開催しました。加えて、ラグビーワールドカップ2019の会場となる「熊谷スポーツ文化公園」や野球の武蔵ヒートベアーズの本拠地である「熊谷さくら運動公園」など、全国有数のスポーツレジャー施設があります。

これらの施設は、他の市町村と比べても、大いに自慢できる、我が街の「強み」です。吉村さんのご提案のように、その魅力をさらに広く発信し、市外からも多くの皆様が熊谷に集まり、楽しんでいただける工夫を皆さんとともに考えていきたいと思えます。

議席番号13 中条中学校 しのだ はやと 篠田 隼寿 議員

イベントでポイ捨てが多いことについて(産業振興部長)

篠田隼寿議員さんの「イベントでポイ捨てが多いことについて」にお答えします。

篠田さんが発言されたことが、ズバリ、私たちの悩みでもあり、主催者にとっての大きな課題でもあります。そこで、まず、現状のポイ捨て対策を説明します。例年、延べ75万人もの人出でにぎわううちわ祭では、市民活動団体により、「うちわ祭DEクリーンアップ」と題して、「護美山車(ごみだし)」と呼ばれる山車を巡行し、「ポイ捨て禁止」を呼びかけています。

また、市では、多くの会社や子どもたちにも参加していただき、「ひろえば街が好きになる運動」を展開しています。「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てる活動です。祭の翌日には、NPO団体や地域の皆様にもお手伝いをいただき、ゴミ拾いに汗を流しています。その他にも、大勢の人たちが清掃に関わることで、イベント翌日にはゴミの片付けが終了しています。

また、45万人の人出でにぎわう花火大会では翌日早朝から、市役所担当部署の職員総出でゴミ拾いを行っています。

現在、サッカー会場では、サポーターによる客席清掃が話題となっているように、世の中の流れも変化しています。篠田さんのアイデアを参考にさせていただき、皆さんとともに、これからも、きれいな街づくりを積極的に進めていきたいと思えます。

議席番号24 大幡中学校 くらさわ ゆい 倉澤 結 議員

熊谷市の特産物の雪くまについて(産業振興部長)

倉澤結議員さんの「熊谷市の特産物の雪くまについて」にお答えします。

倉澤さんの言われるとおり、雪くまは市内での認知度は9割を超えています。また、熊谷市観光協会ホームページでは、うちわ祭、花火大会と並んで、雪くまへのアクセスが多く、熊谷の夏の名物となっています。毎年、多くのお客様が驚くような味の雪くまが、続々登場し、テレビや新聞にたくさん取り上げられ、雪くま目当てに市外からお客様がいらっしゃるようになりました。現在、熊谷市では、雪くまを含めた「ご当地グルメマップ」を年に一度発行しています。熊谷市のホームページでも雪くまの情報について更新し、情報発信に努めています。

また、今年は雪くま誕生10周年ということもあり、夏のみでなく、秋冬もお客様に熊谷の名物を楽しんでいただけるよう、江南地区で採れる栗の味の雪くまの開発も進めています。

雪くまのお店は毎年公募しますので、大幡地区にも魅力的な雪くまのお店が登場

するよう、大いに期待しています。中学生の皆さんも、応援、よろしくお願いします。

議席番号29 妻沼西中学校 ^{かとう まさよし} 加藤 将義 議員
妻沼聖天山等のPRについて(産業振興部長)

加藤将義議員さんの「妻沼聖天山等のPRについて」にお答えします。

はじめに、中学生の皆さんにもできることについてですが、まずは、実際に街に出て、体験すること、その上で先人の努力の積み重ねである「歴史」を知ってほしいと考えています。このため、市では中学2年生の皆さんを聖天山にご招待し、見学会を開催しています。また、「クチコミに勝る広告はない」ということで、体験を通して、今ある熊谷の魅力を理解し、それをたくさんの方々にお話ししていただけたらと思っています。

現在、熊谷市で取り組んでいるPR活動についてですが、大きく「人・紙・ホームページ」の3つの方法でPRしています。まず「人」ですが、熊谷市内外のイベントに参加し、積極的にPR活動を展開しています。2つ目の「紙」ですが、「まっふる熊谷」や「熊谷観光ガイドマップ」といった無料観光情報誌を作製し、配布しています。3つ目の「ホームページ」ですが、熊谷市と観光協会のホームページでイベントや観光スポットの紹介をしています。

国宝である歓喜院聖天堂は、熊谷市の「宝」のみならず文字どおり国の「宝」です。中学生の皆さんも、友達と一緒に、聖天山周辺の散策を楽しんでください。先人の努力を五感で感じ、誇りをもって魅力を広くPRすることで、多くの人が街歩きを楽しめる門前町にしていきましょう。

質問番号10 産業振興部・農業委員会関係

議席番号2 荒川中学校 ^{おくむら なみ} 奥村 奈美 議員

農家数の減少について

年々高齢化が進む中、農家数もとても減少しています。今、農業を営んでいる方々も20年後、30年後には、仕事をするのが難しくなっていることが考えられます。農家の仕事を次の代が受け継いでいかなければなりません。農業をするきっかけをつくるために農業体験をする必要があると思います。

そこで、なにかそのような事業が行われているのか教えてください。

議席番号14 中条中学校 ^{かない ゆき} 金井 祐季 議員

手入れがされずに放置されている農地について

私の家の近くには、手入れがされていなく、放っておかれている農地があります。そうした農地は、やがて雑草だらけになって、自転車などのゴミが捨てられ、ひどい状態になります。熊谷には、このような農地が増えてきているように思います。こうした農地をこのままにしておくのは、大変もったいないと思います。

そこで、これからこのような農地をどうするのか、お考えを聞かせてください。

答弁

(市長)

奥村奈美議員さん、金井祐季議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

奥村さんと金井さんから、農家数の減少、耕作されない農地という農業の課題についての質問をいただきましたが、関連した内容ですので、合わせてお答えします。

熊谷市の農業は、埼玉県内でも3本の指に入る重要な産業です。肥沃な大地を利用して、田んぼで米と麦を作る二毛作が行われ、また、妻沼地域の野菜栽培や江南地域の果樹栽培など、各地域で特色ある農業が営まれています。しかし、日本の産業構造が変化する中で、農家の高齢化や後継者不足により、熊谷市だけでなく、全国的にも農家は減少し、耕作されず放置された農地も増えています。農家数は、今は経営体数といって、個人や法人を含む統計になっていますが、市内では約3,000の経営体があります。従事者は約5,000人ですので荒川中学校の15～6校分、市内中学生の人数とほぼ同じです。市内の耕作放棄地は約70haで、去年は2.6haが解消されましたが、それぞれ中条中学校敷地のほぼ27校分と1校分にあたります。

現在、市では、小学校での農業体験、農地の区画整理、農業を始める人への補助と融資の制度や技術指導をはじめ、昨年、熊谷市に移転開校した埼玉県農業大学校との連携など、多くの事業を組み合わせることで農業を応援しています。

農業は安全保障や国土保全、また健康や環境など様々な角度で捉えていくと視野も広がります。これからも関心を持ち続けてください。

議席番号2 荒川中学校 ^{おくむら なみ} 奥村 奈美 議員

農家数の減少について(産業振興部長)

奥村奈美議員さんの「農家数の減少について」にお答えします。

はじめに、小中学校での取組としまして、全ての学校で、授業として「みどりの学校

ファーム」を開設し、校内や近くの農地で米や野菜を作っています。ファームでは、地元の農家の方が指導にあたるなど、地域のご協力をいただいています。収穫された農産物は、調理実習に使ったり、学校運営でお世話になっている方々をお招きして感謝の会を開いたりして有効活用しています。

次に、親子で参加できる農業体験として、小学生の親子を中心に、奈良地区の農業活性化センターで、年間11回の農業体験を行っています。ここでは、スイカ、ミニトマトなどの夏野菜と、大根、ブロッコリーなどの冬野菜と、2回に分けての作付けをしています。作業は、農家などの指導で行い、うね作り、種まき、草取り、肥料まき、そして収穫と、農作業全般にわたるため、作物の成長や気候の影響などがよく学習できます。作業は、炎天下や、雨の後のぬかるんだ土など、苦勞することも多いだけに、その分、収穫時の喜びはひとしおで、食べ物に対する感謝の気持ちが育っているように思います。また、くまがや農協主催で、年2回の稲作体験も行われています。

今、食の安全意識や健康志向などにより、農業の大切さが改めてクローズアップされています。いろいろな取組を通して、多くの方が農業に関心を持っていただくことに期待をしています。奥村さんも何かの機会にはぜひ参加してみてください。

議席番号14 中条中学校 ^{かない ゆき} 金井 祐季 議員

手入れがされずに放置されている農地について(農業委員会事務局長)

金井祐季議員さんの「放置されている農地の対応について」にお答えします。

農業委員会では、毎年、市内全域で農地のパトロールを行い、農地の作付けや管理の状況を現地調査していて、作付けされずに放置されている耕作放棄地が年々増えています。その原因は、農家の高齢化や後継者不足にあります。このような農地は、雑草が繁り、害虫が発生し、ゴミが捨てられるなど、農地として再生することが難しくなるだけでなく、見通しも悪く、交通事故や犯罪が発生する原因にもなっています。そのため、農業委員会では、放置されている農地の持ち主に適切な管理をしてもらうための指導を行っていて、作付けを勧めるために、持ち主が今後の利用をどうするかを調査して、地元農業委員に耕作してくれる人を紹介していただき、放置されている農地の解消に努めています。

また、整備が済んでいない農地の作業効率を高めるため、土地改良事業で区画を大きくし、道路や水路を整備しています。全国的に農家の高齢化や後継者不足が進み、耕作されない農地が増えているため、国では企業が農業に参入しやすくなり、広い範囲で耕作する方を募集する制度を新たにつくりました。

熊谷市ではこれらの制度を活用し、耕作されない農地を減らし、さらに米や麦、特産野菜などが作付けされるよう、進めていきます。

質問番号11 都市整備部関係

議席番号32 江南中学校 永井^{ながい}花^{はんな} 議員
看板の外国語表示について

2019年に開催されるラグビーワールドカップは、とても大きな大会です。そのため、他国からも大勢の人が熊谷市を訪れることになると思います。もし、看板に外国語の表示がなければ、危ない場所に足を踏み入れてしまったり、目的地はわかるのに、行く順路がわからず、さまよってしまったりと観光を楽しめなくなってしまうのではないかと思います。

そこで、どんな国の人にも安心・安全に熊谷市での観光を楽しんでもらえるよう、看板に外国語を表示することはできないでしょうか。

議席番号28 妻沼東中学校 尾澤^{おざわ}菜緒^{なお} 議員
自転車レーン設置について

私は、塾に行くときや、買い物に出かけるときによく自転車を利用します。その際に車道を通りしているのですが、何度か車にぶつかりそうになったことがあり、非常に危険だと感じています。

そこで、市街地と同じように、郊外に自転車レーンを新たに設置することはできませんか。また、今後そのような計画があれば教えてください。

答弁 (市長)

永井花議員さん、尾澤菜緒議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、永井さんの「看板の外国語表示について」ですが、ラグビーワールドカップ2019は、熊谷市で行われる初めての国際大会で、国内外から多くの人が観戦に訪れ、熊谷市の魅力をPRする絶好の機会と捉えています。私も、昨年、イングランド大会を視察し、絵文字が表示された案内看板、インターネットを手軽にたくさん利用できるWi-Fiの環境整備の必要性を再認識したところです。既に、熊谷駅周辺ではWi-Fi環境の整備を進めており、引き続き、ラグビーワールドカップに向けて、外国語表示を含めた案内看板の整備や通信環境の改善を図り、だれもが安心・安全に熊谷市での観光を楽しんでもらえるよう、環境整備を進めていきます。

次に、尾澤さんの「自転車レーン設置について」ですが、自転車は、環境に優しく健康にも良い乗り物として、利用者が増えています。その一方で、自転車の対人事故が増加傾向にあり、歩行者と自転車が、安全に通行できる環境の整備とマナーの普及促進が大きな課題となっています。現在、熊谷市では、国・県とも連携を図り、熊谷駅周辺の主要道路において、歩行者・自転車が安全・安心に通行できる道路整備を進めています。これからも、自転車や歩行者が安全に安心して通行できる交通環境の整備を中心市街地から順次周辺部へと進め、ネットワーク化を図って行きたいと考えています。

議席番号32 江南中学校 ^{ながい はんな}永井 花 議員
看板の外国語表示について(副市長)

永井花議員さんの「看板の外国語表示について」にお答えします。

日本政府観光局の調査でも、外国人旅行者が日本滞在中に感じた不便や不満として、第一位に案内板や道路標識、地図などの標識、第二位に観光案内所、第三位に言葉が挙げられており、外国語表示の不足など、言葉の不便を感じている外国人が多いということが伺えます。

永井さん質問の看板の外国語表示についてですが、こうした観光局の調査結果を踏まえ、来場者に対して利便性の向上と十分なおもてなしを進めるため、多言語案内の充実や、無料Wi-Fi利用エリアの拡大などにより、快適かつ安心・安全に移動、滞在できる環境を実現すべきであると認識しています。

熊谷市では、平成29年度、熊谷駅周辺地区にある案内誘導看板等のデザイン及び設置基準の策定を予定しており、その中で外国語表示について検討し、ラグビーワールドカップ開催までに整備を進めて行く予定です。

議席番号28 妻沼東中学校 ^{おざわ なお}尾澤 菜緒 議員
自転車レーン設置について(都市整備部長)

尾澤菜緒議員さんの「自転車レーンの設置について」にお答えします。

熊谷市は、地形的に比較的平坦で、晴天率も高いことから、自転車利用に適した地域であると考えています。また、環境、健康志向の高まりを受け、日常生活の中で自転車利用が増える一方、自転車の関係した事故が課題となっています。

このため、歩行者、自転車、自動車が、それぞれ安全に通行できる道路整備が求められています。

尾澤さん質問の、郊外への自転車レーン設置及び計画の有無についてですが、現在、熊谷市では、熊谷駅周辺の国道17号、市役所通線及び北大通線等の自転車道等の設置計画に基づき整備を進めており、中央交番前の県道太田・熊谷線やさいたま博通りの整備は、そのうちのひとつとして行われたもので、市役所通線や北大通線等の整備を、順次、進めていく予定です。そして、県が進めている「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」との連携を図りながら、周辺部へとネットワークを広げて行きたいと考えています。

質問番号12 都市整備部関係

議席番号21 奈良中学校 ^{あきよし かずと} 秋好 和登 議員 公園などの調査について

子どもからお年寄りまで広く使える憩いの場所が、市民の生活には欠かせません。公園等の施設の充実がとても大切だと思います。公園の遊具のネジの飛び出しや安全面の点検、定期的なペンキ塗りなどの整備や、公園の増設の必要性の調査を市として行う必要があると思います。

現状では、そういった調査をどのように行っているのか、また現在の公園の問題点などがあれば教えてください。

議席番号23 大幡中学校 ^{はつがい こうた} 初谷 昂汰 議員 公園の充実について

現在熊谷市にはたくさんの公共施設があります。しかし家の近くに公園がないという話をよく聞きます。近所のお年寄りや子どもといった多くの市民が公園を使えるように、公園をもっと身近に設置していただけるとより住みやすい街になると思います。

そこで、公園を増やしていく計画はあるのか、教えてください。

答弁 (市長)

秋好和登議員さん、初谷昂汰議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

秋好さんと初谷さんのお二人から、公園について質問をいただきましたが、関連した内容となりますので、合わせてお答えします。

現在、熊谷市内には、国営の武蔵丘陵森林公園、ラグビーワールドカップ[®]2019の会場となる県営の熊谷スポーツ文化公園、熊谷さくら運動公園、利根川総合運動公園、熊谷荒川緑地などスポーツの拠点となっている規模の大きい公園、地域の活動の場として活用されている公園や子供広場などが数多くあります。公園には、レクリエーション活動、健康活動、文化活動、自然とのふれあいの場といった役割をはじめ、災害時の避難場所、地域の活性化の拠点、地球温暖化の防止などの役割があります。このように、市民の生活に欠かせない公園を安全で安心して利用できるよう、常に公園の状況の把握に努めています。特に、遊具等に異常がある場合には、大きな事故につながる危険があることから、年に2回、集中して施設点検等も実施しています。また、公園の増設につきましては、現在、進めています籠原、上之及び上石各地区の土地区画整理事業区域内に新しい公園をつくる予定です。そのほかに、既存の公園についても、順次、バリアフリー化や老朽施設の更新などを進めています。今後も、誰もが安全で安心して利用できる公園づくりに取り組んでいきます。

議席番号21 奈良中学校 ^{あきよし かずと} 秋好 和登 議員 公園などの調査について(都市整備部長)

秋好和登議員さんの「公園などの調査について」にお答えします。

熊谷市では、現在、都市公園のほか地域の比較的小規模な子供広場や児童遊園など約400箇所の管理をしています。これらの公園や広場を安全に安心して利用でき

るよう遊具などの点検を行っています。主な点検内容は、鋭利な突起物やボルト等の緩み、著しい塗装の剥がれがないかなどを確認しています。この点検結果に基づき、危険な箇所については、直ちに修繕を行い、事故防止に努め、遊具等の塗装については、計画的に行うようにしています。

また、今年度から点検結果をまとめた記録簿を整理し、安全強化に努めています。

そのほか、日頃、公園を利用している方や公園の美化活動をしていただいている公園サポーターの方から、公園施設の不具合をはじめ、気づいたことや意見などをご連絡いただき、必要な修繕や今後の公園づくりの参考にさせていただいています。

公園の問題点については、公園施設に落書きや悪戯をするなど利用者の中にマナーを守らない人がいることが挙げられます。

今後も、公園を利用する方と一緒に、市民の皆さんが気持ちよく安心して利用できるよう努めていきます。

議席番号23 大幡中学校 ^{はつがい こうた} 初谷 昂汰 議員
公園の充実について(都市整備部長)

初谷昂汰議員さんの「公園の充実について」にお答えします。

現在、熊谷市には都市公園が143箇所あります。市民1人当たりの都市公園面積は24.5平方メートルとなり、国が標準としている10平方メートルを大きく上回る状況であり、県内の市では秩父市に続く第2位となっています。

熊谷市では、道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る土地区画整理事業の区域内に新たな公園を計画しています。

また、規模の大きい住宅団地などの開発が行われる場合に、開発事業者が公園をつくる必要がありますので、この開発行為により新しい公園が整備されます。

公園は、子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層の方にご利用いただいていることから、新しく公園をつくる以外にも、様々なニーズに対応するために、既存施設の老朽化対策やバリアフリー化を進める必要があります。

今後も、市民の皆様のご意見を伺いながら、誰もが利用しやすく、魅力的な公園となるよう、既存の公園の改修や整備を進めていきたいと考えています。

質問番号13 建設部関係

議席番号22 奈良中学校 ^{まつむら もも か} 松村 萌々香 議員

かめの道について

かめの道は、昭和 58 年に廃止された東武鉄道熊谷線の敷地跡に作られた公園で所々休息場があり、市民のくつろぎの公園となっています。私の父もこの公園を散歩道として利用し、私たち家族にとっても憩いの場所です。ゆくゆくはここに車が通るといわれています。現在、私たちのように利用している人がほかにもたくさんいると思います。

そこで、整備し熊谷市民の健康のため、自転車と歩行者用の遊歩道として活用してはいかがでしょうか。

議席番号16 吉岡中学校 ^{あいざわ か おり} 會澤 華央理 議員

熊谷市内のむく鳥対策について

私はよく市役所前や駅前を車で通ります。だいたい、午後5時半から6時半くらいにかけて通るのですが、先日、むく鳥の量が異常に多いことに気づきました。むく鳥の鳴き声だけでなく、ふんなどの問題もあり、環境や市民の生活に悪い影響があると思います。

そこで、私はむく鳥が木に止まれないように枝を伐採することや、むく鳥が電線にとまれないような工夫ができないか考えました。また、むく鳥が嫌がる音を出す機械があることも聞いたりしましたが、熊谷市ではどのようなむく鳥対策を行っているのでしょうか。

答弁 (市長)

松村萌々香議員さん、會澤華央理議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、松村さんの「かめの道について」にお答えします。かめの道は、昭和 58 年に廃止された東武鉄道熊谷線の跡地を、当時の熊谷市及び妻沼町が無償で借りて、利根川と荒川の水と緑の広大な自然を結ぶグリーンベルトとして、多くの市民が自然に触れ、緑に親しみながら、気軽に散策やサイクリングが楽しめるような環境を創ることを目的として整備を始めました。今後、未整備の区間につきましても、限られた道路幅を有効に活用し、歩行者や自転車が利用しやすい、便利で人と環境にやさしい道づくりを進めていきます。

次に、會澤さんの「熊谷市のむく鳥対策について」にお答えします。熊谷駅前広場は、大勢の人が利用される空間であり、樹木は駅の景観や環境の面等から貴重な緑と考えています。一方で、夕刻から夜間には、適度な明るさがある駅前広場や市役所通りの大きな樹木は、むく鳥のねぐらに適した環境となり、鳴き声や、ふん害などが問題になっています。対策としましては、街路樹を強めに剪定するなどして、むく鳥の追い出しを図っていますが、いったん追い出しても、他の場所に移るなど、根本的な解消になっていないのが現状です。引き続き、効果的な方法となる情報を収集し、むく鳥対策に取り組んでいきます。

議席番号22 奈良中学校 ^{まつむら ももか}松村 萌々香 議員
かめの道について(建設部長)

松村萌々香議員さんの「かめの道について」にお答えします。

かめの道は、全長約9.5km、標準幅13mで、第2北大通線から南側の約1.5kmを市民の憩いの場となるオープンスペースとして、また、北側の約8kmを周辺地域の利便性の向上を図るため、自動車が通行可能な道路として整備をすることになりました。

現在、第2北大通線の南側は、遊歩道として大勢の市民の皆様にご利用いただいているところです。北側につきましては、奈良小学校前交差点から北へ約4.7kmと第2北大通線から北に約650mの区間が完成し、周辺道路の混雑緩和に役立っています。

未整備の区間につきましては、ラグビーワールドカップ2019のアクセス道路網として整備を進めている第2北大通線の完成後に着手する予定です。具体的な整備としては、歩道と自転車の通行帯を設置するとともに、自動車が快適に走行できるような整備を検討していきます。



議席番号16 吉岡中学校 ^{あいざわ かおり}會澤 華央理 議員
熊谷市内のむく鳥対策について(建設部長)

會澤華央理議員さんの「熊谷市のむく鳥対策について」にお答えします。

むく鳥被害は、多くの市町村でその対応に苦慮しています。熊谷市では、むく鳥を追い払うためこれまでに、カラスの模型を設置したり、鳥の嫌がる音や臭いを流すなどの処置を行ってきましたが、効果は続きませんでした。

他市では、タカなどの猛禽類による追い払いの例もあるようですが、費用等の面から熊谷市では現在、樹木の緑を大切にしつつ、駅前や市役所通りで鳥が羽を休めることが困難な程度までの強めの剪定を行うとともに、駅前の街路樹には植物性の鳥防止剤を設置しています。

これからも、市民の皆さんの生活環境の保全や環境美化のため、粘り強くむく鳥対策を行っていきます。

質問番号14 教育委員会関係

議席番号11 大麻生中学校 ^{ならはら ゆうと} 檜原 悠人 議員
ミストの設置について

近年は地球温暖化が進み、今年の夏は大変な猛暑でした。暑さで有名な熊谷市は暑さ対策として、熊谷駅などでミストを使用しています。大麻生地区では、小学校などでミストが設置されていますが、中学校ではまだミストが設置されておりません。

そこで、中学校では部活動などで、大変激しい運動をしているので、熱中症予防として、中学校にもミストを設置するのはいかがでしょうか。

議席番号12 大麻生中学校 ^{えびはら ももか} 海老原 桃花 議員
通学用帽子について

熊谷市は暑い街として有名です。熊谷市は「暑さ日本一」だけではなく「暑さ対策日本一」ともなっています。私たちは小学生の頃、登下校中に熱中症、日射病にならないように通学帽子がありました。中学生になると制服に合わないせいか、なくなってしまいました。日光の影響を調べてみると、紫外線をたくさんあびてしまうことで、目への影響、皮膚障害、皮膚がん等を発症する可能性が高くなることが分かりました。

そこで、中学生にも夏の間だけでも登下校時の帽子着用をすすめていく取組はありますか。

議席番号3 富士見中学校 ^{もちづき りょうへい} 望月 涼平 議員
図書館の老朽化について

熊谷市は市役所、図書館など多くの公共施設があり市民の憩いの場として使われています。しかし、近年その多くの施設の老朽化が気になります。私は本が好きで図書館を多く利用しています。その図書館では建物だけでなく、本の老朽化や新しい本の導入の遅れが生じているように感じます。

図書館を新しく建て替えたり、新書や話題の本をそろえたりすれば、市民の利用数はさらに増えて施設の有効活用ができると思います。図書館を新しく建て替える計画はありますか。また、新しい本を導入することはできますか。

答弁
(市長)



檜原悠人議員さん、海老原桃花議員さん、望月涼平議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

はじめに、檜原さんの「ミストの設置について」ですが、小学校では、現在15の小学校でミストシャワーを設置し、大変好評を得ています。費用もあまりかからない簡易型のものもあるので、中学校でも、校長先生や生徒会でよく話し合い、設置の検討をしてほしいと思います。

次に、海老原さんの「通学用帽子について」ですが、暑さ対策の一つとして、とても

よい取組だと思えます。自分たちでできる熱中症予防の一つですので、それぞれの学校で熱中症対策について話し合う機会を設け、中学生の視点から様々な取組を実践してほしいと思えます。熊谷市でも、引き続き、暑さ対策にしっかり取り組んでいこうと思っています。

次に、望月さんの「図書館の老朽化について」ですが、現在、熊谷市には、熊谷、大里、妻沼、江南の4つの市立図書館があります。このうち、最も早く建設した熊谷図書館については、地震など災害時での安全性を最優先して、来年度に耐震補強工事を予定しています。また、この工事の際には、トイレや空調設備の改修を行うなど、読書環境の整備・充実を図りたいと考えています。

議席番号11 大麻生中学校 ^{ならはら ゆうと} 榎原 悠人 議員
ミストの設置について(教育長)

榎原悠人議員さんの「ミストの設置について」にお答えします。

現在、小学校で設置しているミストシャワーは、簡易型のものですが、涼しさを感じたり、休み時間の外遊びなどで汗をかいた後のクールダウンに利用され、児童たちに喜ばれています。大麻生小学校でも、園芸用のものを、改良し、あまり費用をかけずに設置していますので、榎原さんたちも一度見てください。

各学校には維持管理の予算がありますので、それぞれの学校で創意工夫しながら、取り組んでもらいたいと考えています。

議席番号12 大麻生中学校 ^{えびはら ももか} 海老原 桃花 議員
通学用帽子について(教育長)

海老原桃花議員さんの「通学用帽子について」にお答えします。

熊谷市では、市内全小学校29校において安全面から年間を通して登下校時に通学用帽子、またはヘルメットを着用しています。中学校では、自転車通学の皆さんはヘルメットを着用しています。海老原さんがおっしゃるとおり、帽子は、暑さ対策に効果がありますので、徒歩通学の皆さんには、その効果を理解し、全員が帽子を着用してほしいと思っています。

各学校で生徒会を中心に、帽子の重要性について話し合い、どんな帽子が似合うのかを考えるのも楽しいでしょう。登下校にふさわしい素敵な帽子の着用を、積極的に広めてほしいと思います。

議席番号3 富士見中学校 ^{もちづき りょうへい} 望月 涼平 議員

図書館の老朽化について(教育長)

望月涼平議員さんの「図書館の老朽化について」にお答えします。

現在、図書館を建て替える具体的な計画はありませんが、熊谷図書館については、来年度、耐震補強工事などを予定しています。



また、蔵書については、熊谷、大里、妻沼、江南の4つの市立図書館で、約45万3千冊ありますが、人気がある本は、常に貸出中であつたり、表紙などの装丁が、古くなってしまうことがあります。こうしたことから、毎年、新しい本を約2万冊購入しています。

利用者からのリクエストについても応じており、昨年度の対応率は、99%です。新刊本や話題の本で読みたいと思ったものは、ぜひ、望月さんもリクエストをしてください。

本に興味を持ち、読書を習慣化することは、自分の生き方や考え方を養うために、大変、重要な役割を果たします。これからも、図書館を大いに活用し、読書に親しんでくれるよう望んでいます。

5 ジュニア議員の感想

～ジュニア議会を終えて～

1. 議会について

- ・ 本当の議会に近く、議会のしくみがよくわかりました。
- ・ 普段議員さんが座っている席に座ることができたことはとてもよい経験になったと思います。将来この席に座ることができるよう頑張りたいと思いました。
- ・ 今回のジュニア議会を通して議会についてさらに関心が持てました。
- ・ 今回の経験を生かして、今後の「よりよい□□中」をつくっていかれたらと思います。
- ・ 議会を行うに当たって、多くの人に関係していてびっくりしました。本番はスムーズに行われていて、計画性があり、すごいと思いました。

2. ジュニア議会を体験して

- ・ 質問に対する答弁は自分の考え方が広がり、様々な角度から物事を見られるとても貴重な体験でした。
- ・ このような貴重な経験をしたことで多くのことを学ぶことができたので、これからもいろいろなことを調べたいなと思いました。
- ・ これから、熊谷市が発展をしていくために、普段の生活で、熊谷市の役に立つことができれば良いなと思います。
- ・ 熊谷市が発展するためには、観光客を増やさなければいけない、ということだけを考えていましたが、今回ジュニア議会を体験して、まずは、私たち自身が熊谷市の良さを知り、その良さを家族や友人、他の市の人達へと伝えていくことが、熊谷市が発展することへの近道であると学ぶことができました。
- ・ 初めてのことがたくさんあったのでとてもわくわくしました。
- ・ 他のジュニア議員が、熊谷の良いところ、変えてほしいところなど、さまざまな視点で質問していたのですごいなと思いました。
- ・ 議会は、私たちがどうしたら快適に暮らせるのかを考え、答弁を考えてくださっていることを知り、本当にすごいなと思いました。
- ・ 自分の知りたかったこと以外にもたくさんを知ることができ、とても役立ちました。
- ・ 他のジュニア議員とは合計3回のふれあいでしたが、新たな仲間ができたり、質問を考えたり、とても楽しかったです。
- ・ 他の学校のジュニア議員の質問を聞くことで、私の知らない熊谷がま

だまだたくさんあることがわかりました。

- ・ 私が気になっていた施設は、市ではなく自治体が設置しているということを知らなかったのが驚きました。また、補助が出るということを知ったので、ぜひ周りの人に話してみたいと思います。
- ・ 他人まかせではなく、自分自身の意見を持って議会に参加することができました。
- ・ 普段気にしないことも気づけたり、市への理解も深められたり、大変メリットの多い体験だと思いました。
- ・ 熊谷市内で不便なことがあれば、ホームページを利用していきたいと思います。

3. ワークショップについて

- ・ 熊谷市の取組を知って、熊谷市への関心や理解が深まりました。
- ・ 他のジュニア議員との話し合いの中で、同じテーマであってもみんな着目する点が違って、それがすごく楽しかったです。
- ・ 議会についてだけでなく、市役所の中の様子や市役所での仕事、また2019年のラグビーワールドカップに向けての取組などを学習することができ、とても貴重な体験になりました。
- ・ ワークショップを通して、他の中学校の皆さんとたくさん交流ができました。2回目のワークショップでは市役所内をめぐらせていただき、とても勉強になりました。
- ・ 熊谷市内にはこんなことがあったんだと理解することができ、市への興味を深めることができた。
- ・ ジュニア議員同士の交流が深まりました。
- ・ 市役所の中を見て回ったときは色々な分野で分かれていて驚きました。
- ・ ジュニア議員の皆で「未来の熊谷を一緒に考えよう」をテーマに話し合いをして、色々な人の目線での「熊谷」は、それぞれ違いがあることを知りました。
- ・ 他校のジュニア議員を通して熊谷の特産品について今まで以上に知ることができました。
- ・ ワークショップで今まで知らなかった市政のことも知ることができ、質問内容を掘り下げるのに役立ちました。
- ・ 最初はどうでもいいと思っていましたが、ワークショップに参加し、だんだんと熊谷市への疑問点が出てきて、とても良かったです。

7 参考資料(答弁のための出席者)

市長	富岡 清
副市長	嶋野 正史
市長公室長	清水 敏文
危機管理監	戸森 重雄
総合政策部長	長谷川 泉
総務部長	関口 和佳
市民部長	山崎 昌司
福祉部長	野中 詔子
環境部長	中島 慎介
産業振興部長	建川 崇嗣
都市整備部長	前田 昌利
建設部長	宮本 貢朗
消防長	木村 和行
水道部長	正田 知久
契約室長	渡辺 祐一
会計管理者	内田 百合子
教育長	野原 晃
教育次長	米澤 ひろみ
選挙管理委員会事務局長	橋本 荘二
監査委員事務局長	長島 留美子
農業委員会事務局長	澤田 英夫
議会事務局長	小暮 昭雄



市の花さくら、市の木けやき、市の鳥ひばり、市の魚ムサシトミヨ

第 11 回 夢・未来熊谷ジュニア議会 会議録

発行 熊谷市総合政策部広報広聴課

〒360-8601 熊谷市宮町 2-47-1

TEL : 048-524-1111(代表)